

注目情報 2 安曇野の住みよい家づくりを応援します！

住ま居る応援制度 申し込み好調

昨年10月から始まった市民の皆さんの住みよい家づくりと市内事業者の皆さんを応援する、住ま居る（スマイル）応援制度。本年度もすでに224件の申請をいただき、予算残額は1743万円（7月13日現在）の状況です。年度途中でも予算枠に達した場合は終了しますのでお早めにお申し込みください。

3つの助成メニューで家づくりを応援します

市民の皆さんが住宅の改修や新築などを行う場合にその費用の一部を助成します。その際、住ま居る（スマイル）応援制度工事店による施工が条件です。

制度を利用する人は、着工の30日前に必要な書類を添えて事前に申請してください。審査には最低2週間程度掛かりますので余裕をもって申請してください。助成は本年度予算分に達するまで行います。市ホームページでは補助金残額を随時更新しています。

なお、補助金額、補助対象となる工事は次ページのとおりです。

①住宅の改修工事 ―住環境の向上を応援

住宅の屋根のふき替え工事や台所、浴室、トイレ器具の付け替えなどの改修工事を行う場合（次ページ対象例参照）

②耐震化付帯工事 ―住宅耐震補強の促進を応援

昭和56年5月31日以前着工の木造住宅で、市の耐震診断を受診し、市住宅耐震補強工事補助金の交付を受ける住宅で、補助金の対象工事以外の改修工事を併せて行う場合

③新築住宅の取得 ―若年層の定住促進を応援

住宅の建築または購入の契約締結時の年齢が満45歳以下の人が、一定条件を満たす一戸建て住宅を平成26年3月31日までに建築、または市内の建築関連業者が建築した建売住宅を購入する場合

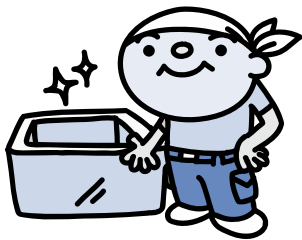
主な活用は改修工事 申請はお早めに

昨年10月から始まったこの制度は、半年間で166件の利用がありました。

内訳はメニュー①住宅の改修工事が158件（補助額1969万1千円）、メニュー②耐震化付帯

工事が2件（補助額60万円）、メニュー③新築住宅の取得で6件（300万円）です。

本年も4カ月で昨年度を上回る申請をいただいています。お住まいの住宅の小さな改修工事から住宅の建築まで、制度をご利用される場合はお早めにお申し込みください。



●補助の概要

補助内容	メニュー① 住宅の改修工事	メニュー② 耐震化付帯工事	メニュー③ 新築住宅の取得
対象工事金額 （税込）	20 万円以上	耐震補強工事費 以外の工事費が 50万円以上ある こと	500 万円以上
補助金額 （千円未満端数切り捨て）	対象工事金額 × 10%	対象工事金額 × 20%	50 万円
補助上限金額	20 万円	30 万円	50 万円

メニュー① 住宅改修工事の対象例

●対象となる工事例

屋根の葺き替え・塗装・断熱工事、屋上・ベランダ・バルコニーなどの防水・修繕・新設工事、窓ガラス・雨戸・網戸などの取替え・修繕・新設工事、建具・襖などの取替え・修繕・新設工事、畳の取替え・表替え、作り付け家具の設置工事、台所・浴室・トイレなどの器具の付替え・修繕・新設工事、住宅改修にかかわる下水道の付替え・宅内配管・電気工事

●条件により対象となる工事例

土台・基礎の補修工事、内壁・床・天井など内装の取替え・修繕・新設・断熱工事、間仕切壁の新設・撤去工事、（以上、耐震補強工事以外の工事）給排水設備・給湯器・冷暖房・換気システムなどの取替え新設工事、大型電化製品の取付工事、防犯・防火用設備の設置工事（以上、設置工事を伴うこと）バリアフリー化工事、太陽熱などの自然エネルギー利用設備設置工事（以上、他の補助制度対象外の工事）

●対象とならない工事例

既存建物の撤去工事、住宅本体以外の物置などの修繕・新築工事、外構工事、下水配管のみの工事

●補助金計算例

メニュー	具体事例	対象工事費	補助率	補助金額	備 考
メニュー① 住 宅 の 改修工事	対象工事が 50 万円のトイレの水洗 化工事を行なう場合	50 万円	10%	5 万円	
	対象工事が 205 円のトイレの水洗化 と浴室・台所の改修工事を行なう場合	205 万円	10%	20 万円	上限額 20 万円を超えた ため上限額までの補助
メニュー② 耐 震 化 付帯工事	耐震補強工事と併せて、トイレの水 洗化工事を計画した。見積額は総額 200 万円で耐震補強分が 150 万円 となった場合	200 万円－ 150 万円＝ 50 万円	20%	10 万円	
	耐震補強工事と併せて、内装の模様 替えを計画した。見積額は総額 195 万円で耐震補強分が 150 万円となっ た場合	195 万円－ 150 万円＝ 45 万円	—	非該当	住宅改修に係る費用が 50 万円未満のため非 該当
	耐震補強工事と併せて、内装の張替 えを計画した。見積額は総額 355 万 円で耐震補強分が 150 万円となった 場合	355 万円－ 150 万円＝ 205 万円	20%	30 万円	上限額 30 万円を超えた ため上限額までの補助